

安倍総理、『吉田調書』の公開を渋る理由は何ですか？

6月5日付けの週刊朝日で作家の室井佑月氏は、国が情報を開示しないことで「国民を洗脳している」と指摘している。以下に、内容の一部を紹介します。

先週のこの原稿にも書いたけど、安倍総理は「美味しんぼ」騒動を踏まえて、「政府としては、根拠のない風評を払拭していくためにも、しっかりと正確な情報を分かりやすく提供していく」と発言した。本当にそうしてくれるんでしょうね？ 望むところだ、と思っていた。

しかし、5月23日付けの「日刊ゲンダイ」に、「安倍官邸が激怒！ 福島原発『吉田調書』流出で”犯人捜し”」という記事が出ていた。安倍首相とその周辺の人達は、朝日新聞がスクープした『吉田調書』にカンカンだというのだ。

『吉田調書』とは、朝日新聞によれば、原発事故時の福島第一原子力発電所所長（当時の現場の最高責任者）の吉田昌郎氏が政府事故調査・検証委員会の調べに対して答えた「聴取結果書」である。今まで非公開にしてたらしい。A4判で四百数十ページというその調書は、全7編で構成されていて、内容がとてもハードだ。

事故直後に所員の9割にあたる約650人が吉田所長の待機命令を無視して”逃亡”した。高濃度の放射性物質を放出するベントの準備を密かに進め、住民が大量被ばくする恐れがあったこと・・・。

国は福島原発事故の話題を、「風評被害」などという小賢しい言葉を使って、国民が忘れるように仕向けてる。そして実際、結構な数の人間が、国の思惑に踊らされている。

でも、こんなもの『吉田調書』が出てきたら、少しずつ上手いきつつある、国の国民への洗脳がぶちこわしだよな。だから、安倍サイドはカンカンなんだろう。

「官邸ではいま、『一体誰が朝日の記者に吉田調書を流したのか』と”犯人捜し”が始まっています。菅官房長官は『（調書は絶対に）公開しない』と憤然としている。とくに安倍周辺は、原発は過酷事故が起きれば、電力会社さえもコントロール不能に陥る—という解説部分が気に入らないらしい。原発再稼働に突き進む安倍政権にとって、少しでも反原発につながる動きは許せないのでしょう」

これは記事の中で官邸事情通という人がいっていること。

安倍さんが本気で「（国民に）しっかりと正確な情報を分かりやすく提供していく」というなら、何も問題ないじゃんね。事故後の福島第一原発で何が起きていたか書かれている『吉田調書』を積極的に「しっかりと正確」に国民に公開してよ。 —以下略—

最後に「美味しんぼ」騒動について一言。事実を伝える際にも、表現を含めて様々な配慮が必要なことは言うまでもありません。しかし、今回のことで、汚染や健康被害に触れることがタブー視されるようになり、そうした事実が埋もれてしまうような事態は、何としても避けなければならないのではないのでしょうか。